

隔離圃場におけるアリルオキシアルカノエート系除草剤耐性トウモロコシ(改変aad-1, Zea mays subsp.mays(L.) Itlis.)
(DAS40474, OECD UI:DAS-40474-7及びDAS40278, OECD UI:DAS-40278-9)の生物多様性影響評価試験
(栽培実験期間:平成21年度)

確認項目	確認結果
交雑防止措置について	○交雑防止措置について 本栽培実験では、隔離距離によらない交雑防止措置を行っています。
	○選定場所について 本栽培実験では、隔離距離によらない交雑防止措置により実施していますので本措置は必要がないことを確認しました。
	○開花前の低温により交雑の可能性が想定される場合の措置について 本栽培実験では、本措置を講じる必要がない事を確認しました。
	○モニタリング措置について 本栽培実験では、本措置を講じる必要がない事を確認しました。
混入・拡散防止措置について	○実験の種子、種苗の分別管理、野鳥等の食害による拡散防止について 実験種子を袋、密閉容器に入れ管理、混入及びこぼれ落ち防止を行った事を確認いたしました。また、実験区画に防鳥ネットを種子播種日の平成21年7月31日から8月12日まで設置し、野鳥等の食害による拡散防止を行った事を確認しました。
	○栽培実験に用いた機械施設等の洗浄等について 実験区画で作業に使用した機械等を、実験区画外に搬出の際は払い落とし及び洗浄を行ったことを確認しました。
	○第1種使用規程承認作物の収穫物の管理等について 袋がけした雄穂を密閉容器に入れこぼれ落ちを防止し、実験区画から所内の分析室に搬出。分析後はオートクレーブにて不活化処理を行ったことを確認しました。
	○栽培実験終了後の第1種使用規程承認作物等の処理等について 播種後間引きした植物体については、ほ場内に設置された堆肥場にて不活化処理を行った事を確認しました。栽培実験終了後の植物体については、地上部は平成22年1月23日にほ場内の堆肥場にて不活化処理、地下部は2月25日にほ場の実験区画内に鋤込みして不活化処理を行った事を確認しました。
	○第1種使用規程承認作物を栽培した区画での後作の収穫物の取り扱いについて 後作を行わないので必要がないことを確認しました。
栽培実験に係る情報提供について	○計画書の公表について 計画書が平成21年5月15日に公表された事を確認しました。
	○説明会の開催等について 説明会が平成21年6月10日に開催された事を確認しました。また、本栽培実験についての問い合わせの対応、希望者に対し本実験への見学の受け入れを行った事を確認しました。
	○栽培実験の経過に関する情報提供について 説明会の開催等、本実験の経過について8件の情報がホームページに掲載されている事を確認しました。
	○栽培実験を終了した後の情報提供について 栽培、処理終了について、平成22年2月25日にホームページに掲載されたことを確認しました。
栽培実験に係る管理体制の整備について	栽培実験責任者、作業管理主任者、情報提供主任者を指名して管理体制を整備している事を確認しました。

隔離ほ場全体



平成21年10月19日撮影
図1

除雄した組換え体と除雄していない非組換え体



平成21年10月19日撮影
図2